

## 第3期中期目標（素案）に対する委員からの意見と対応状況

委員意見	対応状況
<p><b>意見 1</b></p> <p><b>目標全体について</b></p> <p>コロナ禍の影響、例えば、どのように授業のレベルを維持していくのか、国際化の多様なあり方などを反映すべきである。</p>	<p>具体的な取組（デジタル・フィジカルを上手に活用した授業や国際交流の方法など）は中期計画に記載することとし、中期目標では、新型コロナウイルス感染症の影響下にある旨を前文（基本的な目標）後段部と3－(3)国際化の推進に関する目標に下線のとおり追加する。</p> <p><b>【修正前】：</b></p> <p>（前文）</p> <p>前二期目標期間においては、きめ細やかな教育により有為な人材を育成するとともに、教育研究の成果を地域に還元することに努めてきた。また、国際経済学部開設により、グローバル社会のなかで発展する地域の経済に貢献する基盤を構築した。これらの大学の知的・人的財産をさらに積極的かつ有効に活用し、県民の教育ニーズに適切に対応することで、県民からの期待と要請に応え、地域の発展により一層貢献する大学となるよう次のとおり第3期中期目標を定める。</p> <p>（国際化の推進に関する目標）</p> <p>海外の大学・研究機関との相互交流、大学の国際化を積極的に推進する。</p> <p><b>【修正後】：</b></p> <p>（前文）</p> <p>前二期目標期間においては、きめ細やかな教育により有為な人材を育成するとともに、教育研究の成果を地域に還元することに努めてきた。また、国際経済学部開設により、グローバル社会のなかで発展する地域の経済に貢献する基盤を構築した。<b>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により教育研究活動等に一定の制約はあるものの、</b>これらの大学の知的・人的財産をさらに積極的かつ有効に活用し、<b>ICTの活用等先進的な教育方法を積極的に取り入れるなど、</b>県民の教育ニーズに適切に対応することで、県民からの期待と要請に応え、地域の発展により一層貢献する大学となるよう次のとおり第3期中期目標を定める。</p> <p>（国際化の推進に関する目標）</p> <p>海外の大学・研究機関との相互交流等、大学の国際化を<b>オンラインの活用など様々な方法を用いながら</b>積極的に推進する。</p>

委員意見	対応状況
<p><b>意見 2</b></p> <p><b>1 教育に関する目標</b></p> <p><b>(1) 教育の成果に関する目標</b></p> <p><b>【学部学士課程】①</b></p> <p>「実践的専門能力」について、何を指しているのかよくわからない。定義づけするのは非常に難しいし、仮に定義できても、後年、その能力は大きく変わってくる可能性もある。また、「実践的でない専門能力」は必要ないように受け取られる可能性があるため、表現方法を再検討すべきである。</p>	<p>下線のとおり修正する。</p> <p><b>【修正前】：</b></p> <p><b>【学部学士課程】</b></p> <p>① グローバルな視野と語学力、<b>実践的専門能力</b>を備えた人材</p> <p>東アジアを中心とした諸外国と本県との経済的・文化的交流の中核となり、国境を越える課題にグローバルな視野と語学力、<b>実践的専門能力</b>で対応できる人材を育成する。</p> <p><b>【修正後】：</b></p> <p><b>【学部学士課程】</b></p> <p>① グローバルな視野と語学力、<b>専門知識に裏打ちされた実践的能力</b>を備えた人材</p> <p>東アジアを中心とした諸外国と本県との経済的・文化的交流の中核となり、国境を越える課題にグローバルな視野と語学力、<b>専門知識に裏打ちされた実践的能力</b>で対応できる人材を育成する。</p>
<p><b>意見 3</b></p> <p><b>「新卒者の県内就職数」の教育指標への移動について</b></p> <p>指標の「新卒者の県内就職数」について、これまで評価委員会では、優秀な人材を県内定着させることで活性化を図るという考え方で評価してきた。教育指標だけでなく、地域貢献の指標としても残すべきである。</p>	<p>「新卒者の県内就職数」は教育と地域貢献の両方の指標(再掲)とする。</p>

委員意見	対応状況
<p><b>意見4</b>  <b>「科学研究費補助金の出願件数・比率」の考え方について</b></p> <p>変更理由の「出願できる権利を持った者がどの程度出願したか」の記載について、厳密には正確ではないので、「科研費の代表になっていない人のうち、どの程度が申請したか」という表現が適切である。</p>	<p>中期計画の数値目標において意見を踏まえた設定とする。  ※ 評価指標の表記は修正しない。</p>
<p><b>意見5</b>  <b>3 地域貢献・国際化に関する目標</b>  <b>(1) 教育研究などにおける地域や社会との連携・協力に関する目標</b></p> <p>リカレント教育の充実について、大学院との関連性が読み取れない。社会人が学びやすくなるような取組の実態はあると思うので、そうした表現を検討すべきである。</p>	<p>下線のとおり修正する。</p> <p>【修正前】：<u>県民の生涯学習ニーズに対応した学習の場を提供するとともに</u>、体系的・継続的で専門的な生涯学習プログラムを提供して、県民の学び直しの機会を充実させる。</p> <p>【修正後】：<u>社会人等のニーズに対応した柔軟な学習期間・方法が選択できるとともに</u>、体系的・継続的で専門的な生涯学習プログラムを提供して、県民の学び直しの機会を充実させる。</p>